

## 特色ある取組

・取材対応者(予定):①北川看護師特定行為研修センター長、②中井看護師長、③当院特定看護師

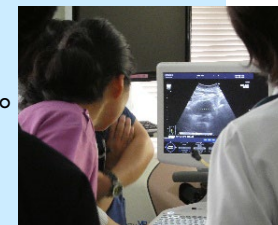
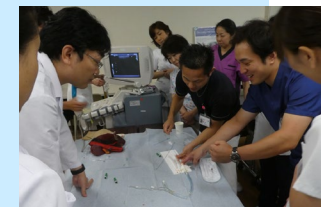
## 社会的な要請

- ・2025年、団塊の世代は75歳以上に。高まる医療ニーズに対応し地域医療を支えるため、2015年、「特定行為に係る看護師の研修制度」を創設。
- ・育成目標10万人以上に対して、修了者は1,685人(2019年3月)に留まる。
- ・2040年の医療提供体制、**医師の働き方改革への対応**でも期待が高まる。

「特定看護師」のニーズは、ますます高まる。

## 滋賀医科大学

- ・2016年、指定研修機関として国立大学で初めて指定を受け研修開始。
- ・看護師特定行為研修センターの下、2019年度は24名が履修。
- ・特定行為「21区分38行為」のうち、10区分21行為を開講。2020年度は17区分34行為に拡大。
- ・大学の教育機能を活かし、解剖見学、医療面接、高次機能シミュレーターを用いた実習を展開。安全に特定行為を行うための体系化したプログラムと実施体制を整備。
- ・厚生労働省が示す活用頻度の高い領域パッケージ(在宅・慢性、術中麻酔管理)を先駆けて展開。
- ・2019年度から、修士課程の高度実践コースを充実。学位取得と研修修了が可能に。
- ・当院看護部には、「特定看護師活動支援室」を設けて、実践をサポート。



## 参考URL

滋賀医科大学 看護師特定行為研修センター  
<http://www.shiga-med.ac.jp/~tokutei/pg575755.html>

## 上記取組による成果・評価 など

- ・2016-2018年度で**23名の研修修了者**を輩出。
- ・滋賀県のみならず、京都、大阪、奈良など**他府県でも活躍**。当院では6名の特定看護師が活躍。
- ・**先行している実績**をもとに、特定行為研修の普及に向けてフォーラムや指導者講習会を開催。全国から参加。



特定行為研修 受講生、修了者 (人)

